

問 現在一部自治体で実施されている「コンビニ交付サービス」は交付業務を委託する自治体が発行する住民基本台帳カードを利用すれば、セブンイレブンの約1万4千店舗のマルチコピー機から住民票の写しや各種証明書を入手することができる。

コンビニ交付は2010年2月から東京都渋谷区三鷹市、千葉県市川市で試験的に始まり現在、交付業務をコンビニに委託している自治体は46市区町村で、本年度中の新規委託も福岡市など11市町にとどまっています。

◇コンビニでの証明書等
交付サービス



長浜ひろみ 議員

全国的にみるとセブンイレブンの店舗がない地域、青森県や鳥取県、沖縄等では、同サービスが受けられない。普及がすすまない原因の一つに、利用できるコンビニがセブンイレブンのみに限られていることが挙げられる。ところが2013年春からは、ローソンとサンクスの大手2社が参入し3社が交付サービスを取り扱う事になると参加自治体数も大幅に増加することが見込まれる。今後の展開が期待される。コンビニ交付サービスは自治体の窓口が開いていない日でも朝6時半から23時まで(自治体で時間が異なる場合がある)証明書を取得する事ができ、住民が必要な時に、都合のいい場所、居住自治体以外にある店舗でもサービスが受けられ、自治体にとっては住民サービスを向上させられる他、窓口業務負担の軽減など、コスト軽減効果にもつながるのではないかと考える。住基カード多目的利用の取り組みも含めて本町の積極的な提案させていただきたい。



交付サービスに新規参入のコンビニ

【3月定例会会期日程】

※予定です。事前に議事事務局までご確認ください。

日	曜日	日程
3月5日	火	本会議①
3月6日	水	本会議②
3月7日	木	本会議③
3月8日	金	本会議④/委員会①
3月9日	土	休会
3月10日	日	休会
3月11日	月	委員会②
3月12日	火	委員会③
3月13日	水	委員会④
3月14日	木	委員会⑤
3月15日	金	委員会⑥
3月16日	土	休会
3月17日	日	休会
3月18日	月	委員会⑦
3月19日	火	本会議⑤(一般質問①)
3月20日	水	休会(春分の日)
3月21日	木	本会議⑥(一般質問②)
3月22日	金	本会議⑦(一般質問③)
3月23日	土	休会
3月24日	日	休会
3月25日	月	本会議⑧(一般質問④)
3月26日	火	委員会⑧
3月27日	水	本会議⑨
3月28日	木	
3月29日	金	
3月30日	土	
3月31日	日	

お知らせ

3月
定例会の案内

議会の審議内容や町の施策など、皆さんの目で見、耳で確かめてみませんか。

定例会は3月、6月、9月、12月に開かれます。

※開会時間は午前10時です。
※詳しいことは議事事務局まで。
☎945-5122

◇台風被害農家に支援を
◇国は国保へ支出金増を
◇住宅リフォーム助成を
◇消費税増税中止!



伊礼一美 議員

問 この夏、台風がたてつけに襲来し、農家に大きな被害を与えた。台風17号による被害はいくらか。再生産につなげるように農家への支援を県に要請する考えはないか。

建設部長 本町における台風17号による農家被害はサトウキビ、葉野菜類、花き、果樹、バナナ等でおよそ610万円。農家支援については県の動向をみながら取りくんできていきたい。

問 平成23年度国保会計は7億4千万円余の赤字。その主な要因は1985年以来、国が国保への負担増の試算(2011年と

建設部長 本町もリフォーム助成金と西原町エネルギー導入助成金と西原町障害者住宅改修給付金事業。そして災害予防支援の西原町雨水利用促進助成金交付事業の3つの支援事業に取り組んでいます。なお、一括交付金の活用については、他市町村の情報も収集しながら検討したい。

問 政府は「社会保障と税の一体改革」による負担増の試算(2011年と

支出金を減らし続けたことによる。改善のために国に対しては支出金を増やすように県に対しては県一般会計から国保への繰り入れを要請する考えはないか。

福祉部長 国保再建については国庫負担の引き上げが必要と認識し、全国町村会等を通して要請していきたい。県一般会計からの繰り入れ要請は厳しいが赤字解消に向けて取り組んできた。

問 長びく不況から地域経済の活性化に道を開くために、地域経済への波及効果が高い住宅リフォーム助成制度を一括交付金を活用して創設する考えは。



住宅リフォーム助成の新聞記事

2016年の比較)を発表した。この試算は消費税増税による負担増に加え、年少扶養控除の廃止と復興財源の均等割による住民税増税や復興特別所得税などの増税と年金・医療・介護保険料の引き上げ分、子ども手当の制度変更に伴う給付減などを合計したものである。夫と専業主婦、小学生の子供2人の4人世帯で年収300万円の場合負担増は24万円、年収の8.1%になり、一カ月の給料が消えてしまう。中止すべきだ。

町長 デフレ脱却が先だと思います。特に所得の低い沖繩は消費税の逆進性が懸念されますので問題が大きいです。

◇西原町のサブ核
◇坂田地域の将来
まちづくりは



伊波時男 議員

問 都市モノレール延伸に伴い通称浦西駅周辺となる徳佐田幸地地域の約30ヘクタール都市計画に1239万円の予算を計上したが、方向性と進捗状況は。

建設部長 浦西駅周辺まちづくり調査業務を平成24年8月に発注しており、調査面積は、徳佐田・幸地地域に及ぶ35ヘクタール。現在の進捗状況は60%で、まちづくり意向調査を実施中です。

都市整備課長 将来こういう道路が来ると区画整理・面的整備についてどう思う

問 当初、徳佐田地域にインターチェンジが計画されていたが、最近になって幸地地域にシフトが移った理由は。

都市整備課長 当初は徳佐田のほうにハイウェイインターでしたが、浦添市の区画整理と連携をしていく中で、幸地のほうにフルインターチェンジで計画されました。

問 県道29号線の幅員工事で、棚原地域の幅員科前交差点から約100メートル先のローソンまでの道路残地における進入路の確保について、町当局の取り組みと今後の方向性は。

建設部長 中部土木事務所において、地域の交通量調査を踏まえた信号制御のシミュレーションを作成し県警と3回協議をしました。今後、地域から要望である信号制御の進入路の確保や



棚原と徳佐田を結ぶ歴史道路「グテーピラ」

歩行者の安全対策も検討します。町も地域の要望や意見を中部土木事務所と協議し早期に解決できるようにしたい。

問 棚原・徳佐田間の歴史道路、通称グテーピラの里道を西地区区画整理地内に階段で敷設計画を車道で迂回する形で計画変更も検討したいと、以前議会でも答弁されているが、方向性は。

建設部長 通称グテーピラの迂回計画は、現在執行中の沖繩都市モノレール浦西駅周辺まちづくり調査業務で現地測量調査を実施し、予備設計の検討をしているところです。今後は測量に入ると想定、一月末にはルート案をまとめる予定です。